

「音楽大好き！」

～音楽のよさや美しさを感じたり表現したりしよう～

主題設定の理由

子どもたち一人ひとりの主体的な音楽活動を支えているのは、「楽しく音楽活動をしようとする」「進んで音楽活動をしようとする」「創造的な音楽活動をしようとする」などの心の働きである。活動の結果得られる成就感や満足感をささえるのもこの心の働きである。これらの心の働きを高めるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培うことで、子どもたちは「できた」「わかった」という実感とともに、より確かな音楽の力を確実に身につけていくことができる。そして、これらの学習活動の積み重ねにより、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性が育ち、基礎的な能力が培われやがて豊かな情操が養われていくと考える。

「音楽大好き！」は、すべての音楽活動を支え、生涯にわたって音楽を愛好する心情につながる最も大切にすべき心の働きである。また、発達段階に応じて設定された目標達成にあたっては、課題を主体的に解決しようとするなど、この「心の働き」に支えられてはじめて可能になることから本主題を設定した。

「音楽的な感受や表現の工夫」の資質や能力なくして、「表現の技能」「鑑賞の能力」の資質や能力は十分育たないのである。しかも、「音楽的な感受や表現の工夫」は表現領域（歌唱・器楽・創作）と鑑賞領域（鑑賞）の双方に共通した観点である。「表現の技能」「鑑賞の能力」につながる資質や能力の育ちを見る観点であるから、「音楽的な感受や表現の工夫」を中核とし、表現及び鑑賞の指導の関連をもたせることができるのである。したがって音楽大好きな子どもにするには、音楽的な感受や表現の工夫を見取る活動を展開していく必要があると考える。

I 研究の内容

1 研究の具体的内容

(1) 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化（この教材で、子どもたちにどんな力をつけさせたいか）
- ・講習会（教材分析・合唱づくり）

(2) 授業研究

- ・子ども達がより主体的・創造的に表現活動ができる学習過程の工夫
- ・音楽のよさや美しさを感じたり表現したりできるような指導の工夫（表現の技能と鑑賞の能力の指導の関連性）
- ・指導と一体となる評価のあり方と実践

(3) 明日の授業づくりと教師の技能向上のために

- ・平成20年度東山梨小中学校音楽発表会での合唱実践
- ・教職員音楽発表会出演（合唱）

2 研究の方法

(1) 教協研究日 (10回のうち授業研究日2回)

- ・勝沼小学校 柏原真澄先生(9月)
- ・塩山中学校 水上陽介先生(1月)

(2) 外部講師による講習会

- ・高橋辰也先生「日本語の発音を大切にしたい合唱指導」(8・9月)

II 成果と課題

1 成果

鑑賞領域の2回の研究授業を通して、課題の解決の糸口を見いだせたことは大きな成果となった。第1回の小学校での実践「アンデス地方の音楽に親しもう」では、生の演奏にふれたり実際に楽器を体験したりする活動をとおして、世界の音楽により親しむことができた。しかし、味わったり感じたりしたことをどのように表現(演奏・言語化)していくのかについては、音楽的諸要素をおさえる部分について課題が残った。第2回の中学校での実践「音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ろう」では、授業過程の工夫と教師の発問の工夫により、子どもたちが音楽を聴いて感じたことを音楽的諸要素をおさえた言語化にすることができた。どちらの授業も、部会員で検討し共同研究が深まったことで、授業過程の工夫や第1回目の授業の課題点を解決するための手だてをすることができたことは、大きな成果となった。

また、研究授業が「鑑賞」の領域に絞られて実践できたことは、部会の共同研究を深めることができ、鑑賞の能力と表現の技能の関連性を考える糸口となった。

講習会は、子ども達の表現の技能を向上させるためには、知識だけでなく教師自身が技能面で吸収することがたくさんあり、また刺激を受けることができた。特に、メロディーやハーモニーに重点を置きがちな教師に、言葉(発音)を大切にしたい視点での合唱づくりの重みを再認識することができた。

2 課題

今後はさらに、表現の技能と鑑賞の能力を関連づけ、さらに深まりのある実践を限られた授業時数の中で実践することと、授業以外にも音楽に親しむ環境づくりに努めていく必要がある。また、中学校の研究授業実施時期について、県教研で実践の成果を発表する手だてを工夫(例:9月以前に実践するなど)して取り組むことを検討していく必要がある。

III 成果物

指導案

- 「アンデス地方の音楽に親しもう」 (小学校 第6学年)
大和小学校 柏原真澄先生
- 「音楽表現の豊かさや美しさを感じ取ろう」 (中学校 第2学年)
塩山中学校 水上陽介先生
(部長 宮澤みさ子)